

外国人材受入れ事例

有限会社小西建設
所在地：矢板市
従業員数：17名

とちぎ外国人材活用促進協議会



外国人の受入状況 2020年10月現在

○技能実習のベトナム人3名を受入れ中（2020年2月から受入れ開始）

外国人受入れの目的・理由

- ・社員の高齢化が進み、募集をかけても日本人の若手を採用することができなかつたため、外国人を受け入れることとした。



外国人の採用方法

- ・監理団体を通じ現地に出向き面接。採用予定者の実家を訪問し、家族と面会。



受入企業の声

- ・外国人の受入れは初めての経験であり、不安があったため、家族のために一生懸命働いてくれる世帯を持った人材を選定した。
- ・日本語に不慣れなだけで、それ以外は日本人と変わらないように思う。
- ・将来は各々に仕事を覚えてもらい、外国人だけで現場が回るようになれば良いと考えている。また、次に入ってくる後輩外国人の面倒も見て欲しい。
- ・仕事をある程度任せられるようになれば、昇給も検討している。

受入れや定着を進めるにあたっての工夫

- ・日本語でコミュニケーションが取れるよう、現場では、外国人だけで固めず日本人も入って仕事を行っている。
- ・寮は、戸建て一軒家を会社で用意し、家賃を給与から天引き。なお、近所のアパートの相場より家賃を低く設定し、冷蔵庫や洗濯機、Wi-Fi等は会社負担で用意した。
- ・日光に連れて行ったり、日用品の買い出しのために、スーパーなどに付き添うことがある。
- ・体調を崩した際は、役員や生活指導担当が病院に付き添っている。
- ・（公財）国際人材協力機構の教材を与え、日本語の学習を支援している。

外国人本人の声

- ・テレビやインターネットで日本を知り来日を決めた。日本語と技術を学んだ後は、ベトナムに帰国したいと考えている。なお、5年間は働きたいと考えている。
- ・休日は、日用品の買い出しや日本語を勉強している。
- ・会社の人は優しく技術を教えてくれる。
- ・スーパーに買い物に行った時に言葉が通じずに困ったことがあった。

